

# チャノキイロアザミウマ情報第2号

令和元年6月17日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

平年に比べて多い状況が続いています！  
ほ場での発生状況に注意し、適期に防除しましょう

## 1 発生状況

6月上旬にブドウで行った、ほ場周囲における本種の生息数調査（ブドウ 11 ほ場のイヌマキ（防風垣）10 新梢の払い落とし虫数）による捕獲個体数が 16.9 頭（平年 4.1 頭、前年 5.2 頭）で、平年に比べて多い状況が続いています。

黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫の誘殺数は、豊橋市のブドウほ場及び南知多町のカンキツほ場ではほぼ平年並ですが、東浦町のブドウほ場では5月第2半旬から、蒲郡市のカンキツほ場では5月第4半旬から増加し、平年に比べて多い状況です（図）。

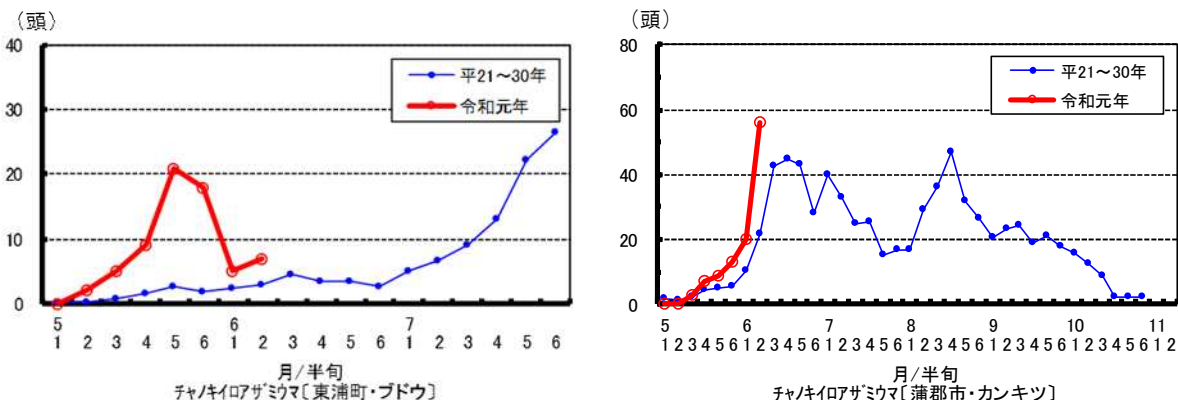


図 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況

## 2 発生ピークの予測と防除

本種は成虫の発生ピーク時期が防除適期です。有効積算温度を利用したチャノキイロアザミウマ第3世代成虫の発生ピーク予測日は、中山間部に位置する稲武を除いて7月5日から7月12日で、前年より4日から6日遅いと予測します（表）。発生の多いほ場では、表の第3世代成虫発生ピーク時期に防除しましょう。カンキツ及びブドウでは5月31日発表の「令和元年度病害虫発生予察注意報第3号」を参考に防除しましょう。カキではコルト顆粒水和剤やスプラサイド水和剤、モスピラン顆粒水溶剤などで防除しましょう。

また、6月13日名古屋地方気象台発表の1か月予報では、向こう1か月の平均気温は低いと予測されており、ピーク日が遅くなる可能性があるため、今後の気象状況に注意してください。

表 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	南知多	名古屋	豊田	大府	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	新城	稲武
第2世代	6/18	6/19	6/13	6/18	6/14	6/20	6/17	6/18	6/17	6/21	7/11
第3世代	7/9	7/11	7/5	7/10	7/5	7/11	7/9	7/9	7/9	7/12	8/3
(前年)	7/5	7/5	6/30	7/4	7/1	7/5	7/4	7/4	7/4	7/8	7/4 <sup>※</sup>
前年差	4日遅	6日遅	5日遅	6日遅	4日遅	6日遅	5日遅	5日遅	5日遅	4日遅	7日遅 <sup>※</sup>
第4世代	7/28	7/30	7/24	7/29	7/23	7/30	7/28	7/26	7/28	7/31	8/25

各地のアメダス平均気温から予測。 ※稲武については、第2世代の前年ピーク日と前年差。

6月16日までは実測値を、それ以降は平年値（豊橋、大府は前年値）を用いて計算。

前年の第3世代は、前年気温の実測値を用いて計算。